

横浜市立平安小学校

学校だより



# 平安

あったかハートで Hey! 安心!!

令和2年11月30日

## 12月号

## 人権について考える

学校長 久城 博之

12月に入りました。校庭の木々も、ついこの間まで葉を青々と茂らせていましたが、今は葉をほとんど失って枝と幹だけの冬木立が目立ってきました。葉を落とすのは余分な消耗を抑えて冬を越すための準備で、代わりに冬芽が出て春を待っています。季節の移り変わりは早いものだと感じさせられます。

さて、先日、新聞を読んでいると、「ゲーム障害 窓口強化」という見出しが目にとまりました。オンラインゲームやテレビゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」に対応するため、消費者庁が全国の消費生活センターの窓口機能を強化し、当事者や家族からの相談を医療機関や民間支援団体に確実につなぐ仕組みを、本年度中に整備する方針を固めたということです。

また、ゲーム障害は世界中で社会問題化されていて、昨年、世界保健機関（WHO）が新たな依存症として認定しています。患者の多くはオンラインゲームにはまっているそうです。それはゲームが依存されやすいように設定されているからとも言われています。依存の原因はゲームに人間の要素が含まれているからだそうです。ゲームの中にいる仲間とのコミュニケーション、仲間からの賛辞や期待、勝った時には達成感が味わえ、バーチャルな世界の中での自己実現に満足するのだそうです。さらに BGM にも気持ちが高揚します。感情の高まりが続くことで、ゲームが中心の生活となります。学習への悪影響や生活も不規則になっていきます。さらに今までのゲームに満足できず、課金して新たなアイテムを手に入れ、その結果金銭トラブルになることもあるそうです。

今月4日～10日は人権週間です。以前と比べると、人権という言葉はかなり広まって人権意識も高くなっています。しかし、残念ながら、今も人種、性別、障害、そして、現在は新型コロナウイルス感染による偏見等、様々な差別が存在します。さらに、大きな社会問題として出てきているのがインターネットによる人権侵害です。個人に対する悪意ある書き込み、掲示板等での誹謗中傷等は、大人だけではなく子どもも人権が侵害されていることがあります。ゲームへの依存とともに子どもたちを守るために社会全体で考えていかななくてはなりません。

ネット社会は、これからも想像がつかないくらい急激に進歩していくことでしょう。一部の高校では、スマホは、一般的な文房具と同じ扱いで授業にも使われているそうです。子どもたちにとって、情報を知ったり、交流をしたりするなどの大切なツールになっていきます。学校でも子どもの発達段階によってネットやスマホ等の正しいかわり方について指導していきたいと思います。

ぜひ、ご家庭でもこの人権週間の機会に、お子さんと向き合い、人権について、そしてスマホやゲームについて話し合ってみてください。